

# マンション用 壁付け門柱 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## 注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

### ◎設置場所・位置について

- 施工前に、壁のコンクリート厚さが 80mm 以上あることを確認してください。門柱の取付強度低下につながります。
- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。
- 外開きタイプは、開閉時に扉が通路面などへ飛び出さない位置に設置してください。

### ◎施工時の注意事項

- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけずと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本体に雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。

**注意**  
施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因となります。

## 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。
マンション用門柱	片開き	壁付け門柱 (2)・吊元門柱 (1)・戸当り門柱 (1)・溝ふさぎカバー (4)	
	両開き	壁付け門柱 (2)・吊元門柱 (2)・溝ふさぎカバー (4)	
壁付け門柱セット部品	片開き	ヒンジ (上部・下部各 1)・M8 × 20 六角ボルト (4)・M8 用バネ座金 (4)・M8 用平座金 (4)・後施工アンカー (6)・M8 ナット (6)・M8 用バネ座金 (6)・M8 用平座金 (6)・M4 × 65 エンドネジ (4)・M4 用バネ座金 (4)・M4 用平座金 (4)・ヒンジ固定裏板 (2)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (16)・吊元柱キャップ (2)・戸当り柱キャップ (2)・裏板 (4)・φ 4 × 12 トラスタッピン 1 種 (4)・長孔ふさぎシール (4)・施工説明書 [ME-2157] (1)	
	両開き	ヒンジ (上部・下部各 2)・M8 × 20 六角ボルト (8)・M8 用バネ座金 (8)・M8 用平座金 (8)・後施工アンカー (6)・M8 ナット (6)・M8 用バネ座金 (6)・M8 用平座金 (6)・M4 × 65 エンドネジ (4)・M4 用バネ座金 (4)・M4 用平座金 (4)・ヒンジ固定裏板 (4)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (16)・吊元柱キャップ (4)・裏板 (4)・φ 4 × 12 トラスタッピン 1 種 (4)・落とし受け [φ 16] (1)・長孔ふさぎシール (4)・施工説明書 [ME-2157] (1)	
	落とし棒取付孔ふさぎカバーセット※1	落とし棒取付孔ふさぎカバー (1)・φ 5 × 12 トラスタッピン 3 種 (2)	

※1:「片開き」にのみ使用します。

## ■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。 お客様相談室  0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ <http://www.lixil.co.jp>

# 納まり図

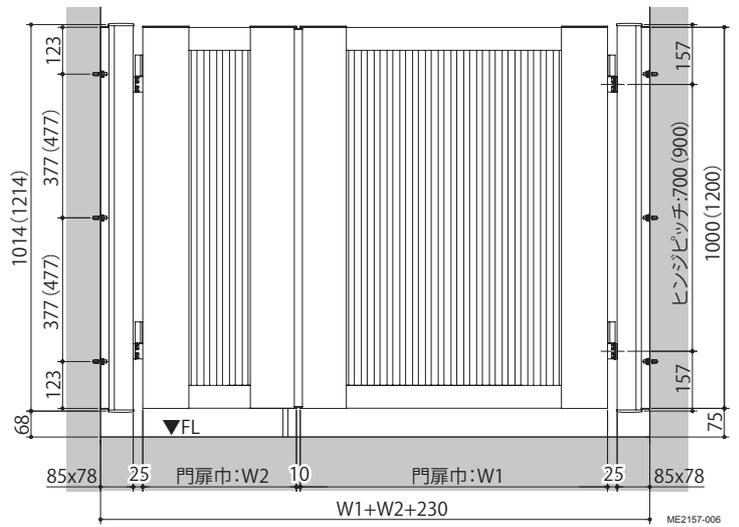
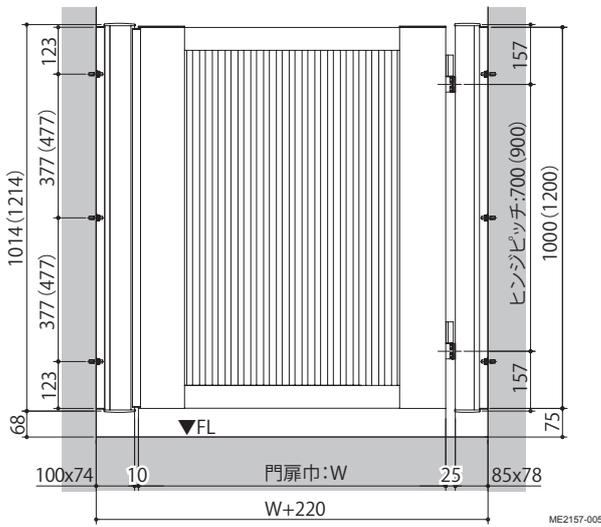
●施工前に必ず確認してください。  
※ ( ) 寸法は、H12 門柱の場合を示しています。

## 片開き

※本図は、右勝手内開きの外観図を示しています。

## 両開き

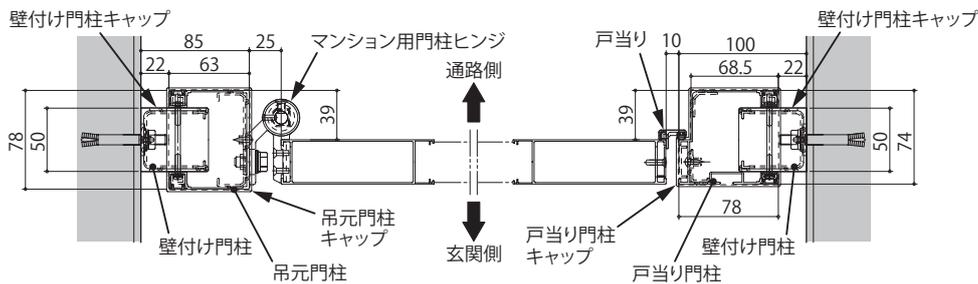
※本図は、内開きの外観図を示しています。



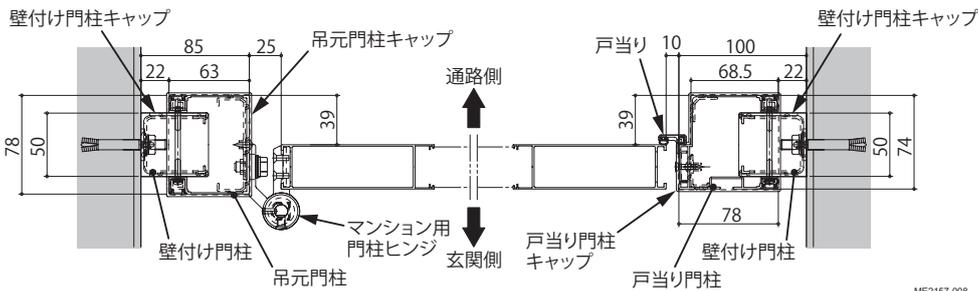
## 吊元部・戸当り部 詳細

## 縦断面図

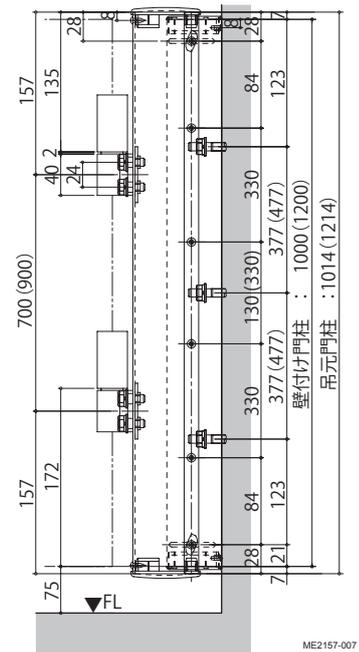
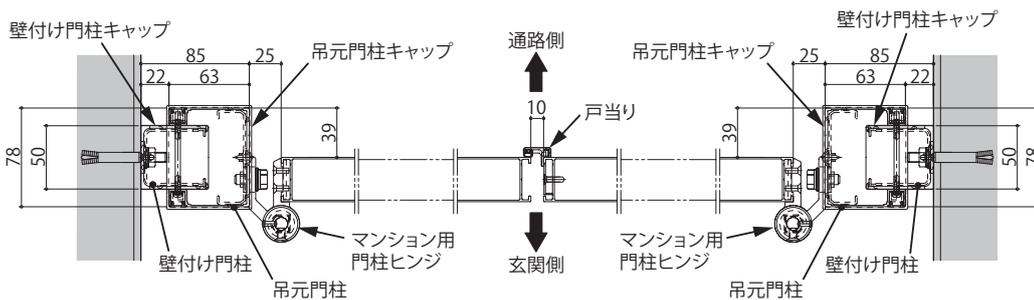
### ●片開き [右勝手・外開き]



### ●片開き [右勝手・内開き]



### ●両開き [内開き]



## 開き勝手・ヒンジの向きの確認

●施工前に必ず確認してください。

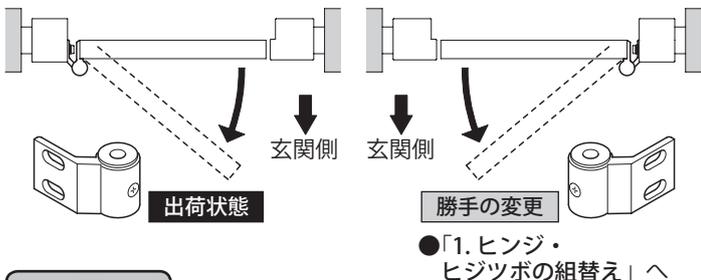


- 現場の条件に合わせて、開き勝手、門柱、ヒンジの向きを決定してください。
- 必要に応じて、「1. ヒンジ・ヒジツボの組替え」を参照して、「勝手の変更」を行ってください。

### 片開き

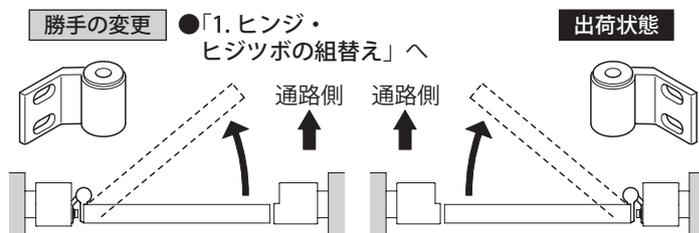
●右勝手・内開き

●左勝手・内開き



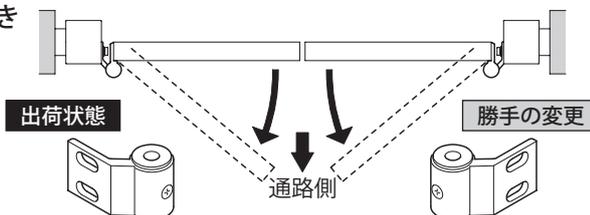
●右勝手・外開き

●左勝手・外開き

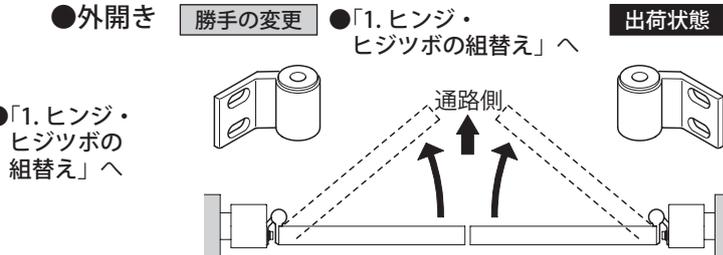


### 両開き

●内開き



●外開き



ME2157-001

## 1 ヒンジ・ヒジツボの組替え

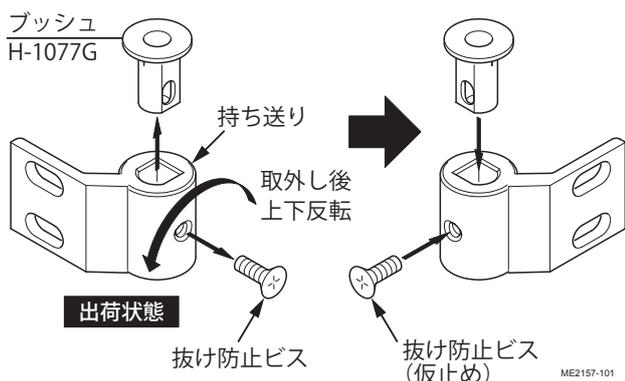
●施工前に必ず確認してください。



- 当社のヒンジは、現場で組替えて、すべての開き勝手に対応することができます。
- 工場出荷時は、「右勝手・内開き」に設定されています。
- 必要に応じて、図示の要領でヒンジを組替えてください。

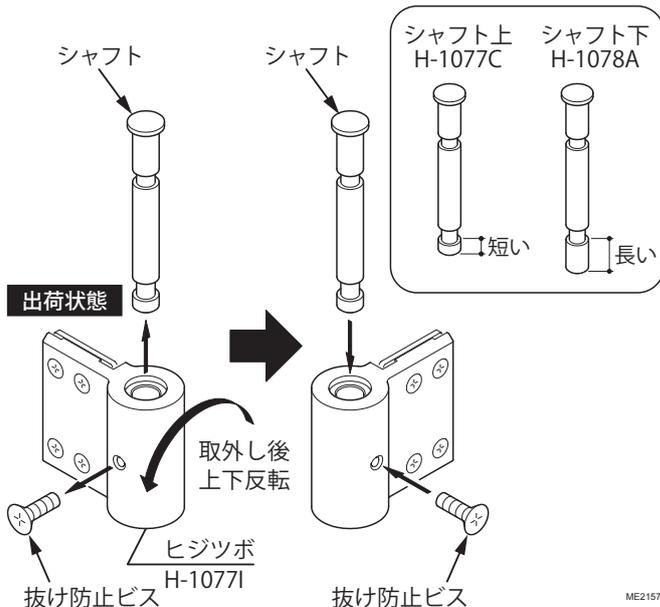
### ヒンジの組替え

- ①持ち送りから抜け防止ビス・ブッシュを取外してください。
- ②持ち送りを上下反転させて、ブッシュを挿入してください。
- ③抜け防止ネジを、ブッシュ孔からビス先端が見えない程度に仮止めしてください。



### ヒジツボの組替え

- ①図を参照してヒジツボを組替えてください。



シャフトは上・下で形状が異なります。下部の長さの違いで区別してください。

## 2 ヒンジの取付け

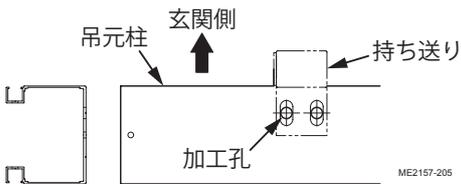
### 2-1 ヒンジの取付け

①吊元門柱の向きを決めてください。

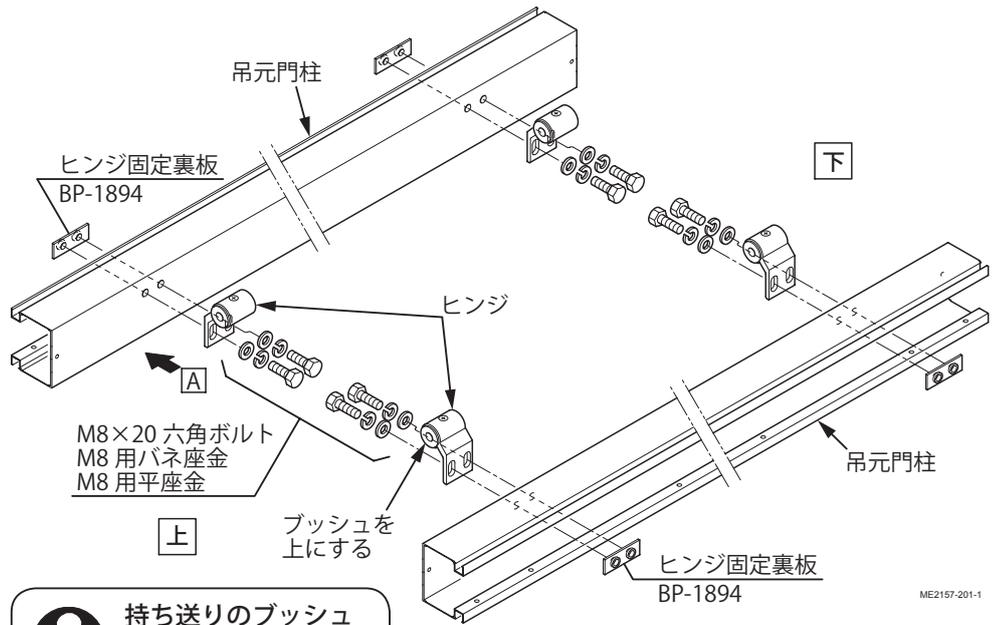


- 吊元門柱には左右の区別はありません。
- 下図の加工孔を家側に向けてください。

●Aから見る

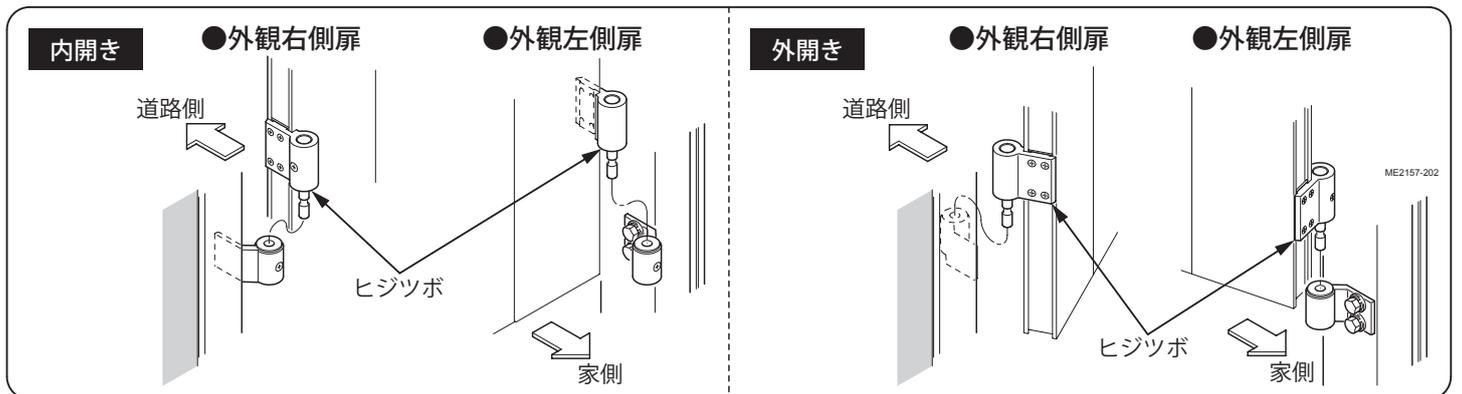


②持ち送りを吊元門柱に取付けてください。



持ち送りのブッシュを上にして取付けてください。

### 2-2 ヒジツボの取付け



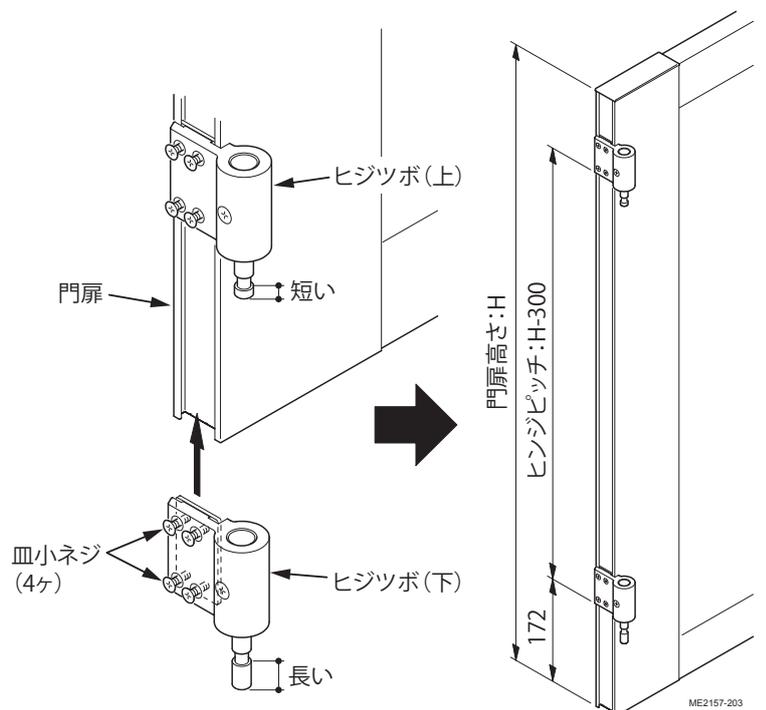
① 3ページの「開き勝手・ヒンジの向きの確認」および上図を参照して、ヒジツボの向きを決めてください。

②ヒジツボの丸皿小ネジ(4ヶ)を(+ドライバー)で少し緩めて、ヒジツボを門扉に取付けてください。



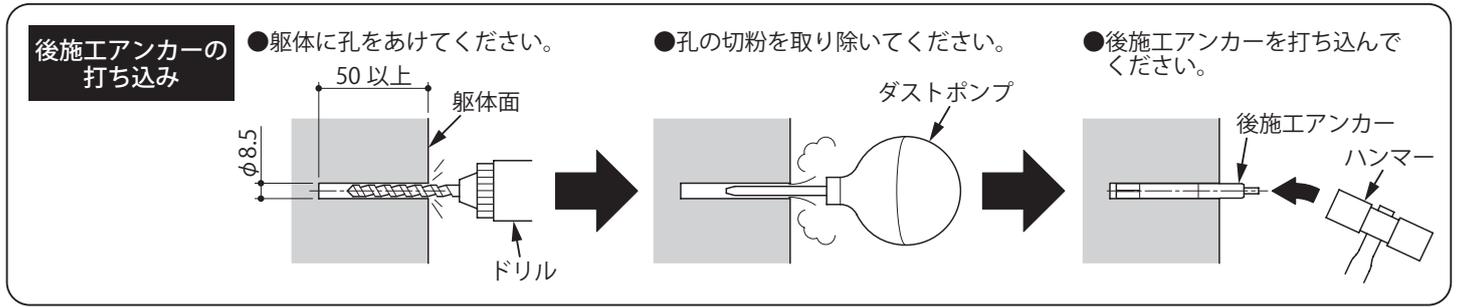
シャフトは上・下で形状が異なります。下部の長さの違いで区別してください。

③ヒジツボの高さを調整してください。



### 3 柱の設置

- ①「納まり図」を参照して、躯体にφ8.5mm・深さ50mmの孔を6ヶ所あけてください。



ME2157-304



壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルキリを使用してください。  
※使用しないと、壁面にひび割れなどが起こる原因となります。

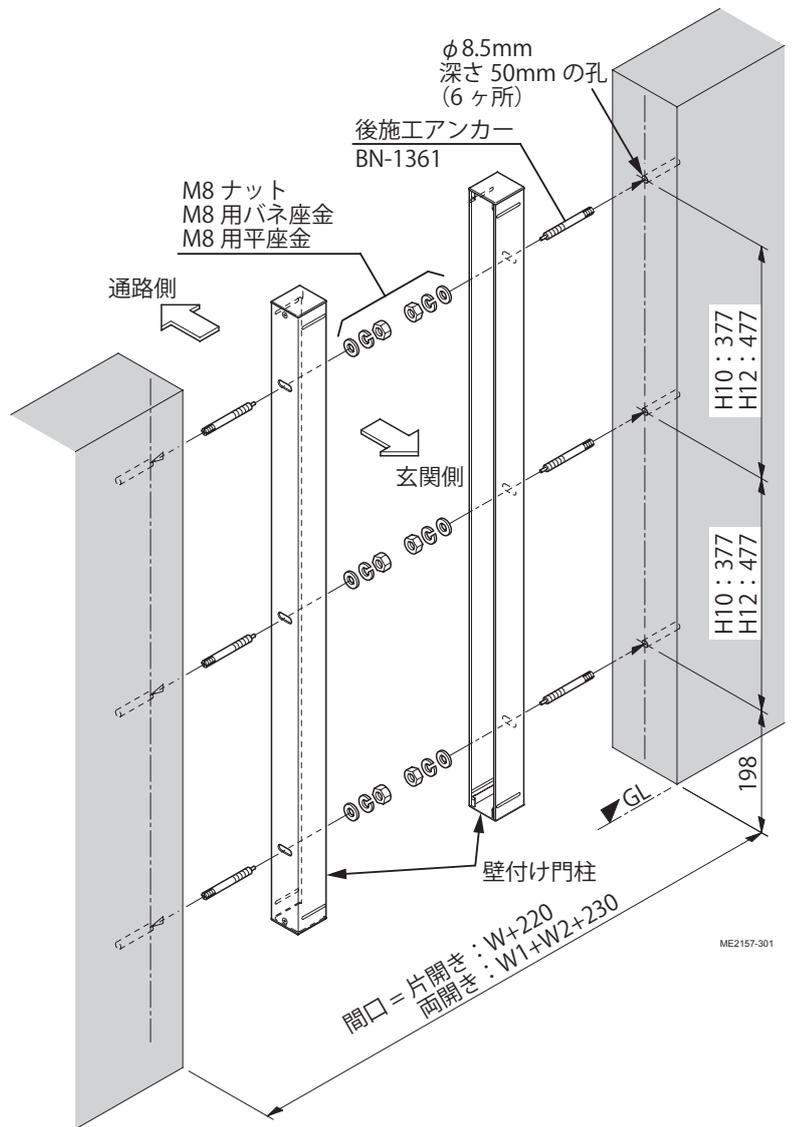
- ②壁付け門柱を躯体に取付けてください。



壁付け門柱には上下・左右の区別はありません。



水平・垂直レベルを確実に合わせてください。  
※正確に合わせないと、門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因となります。

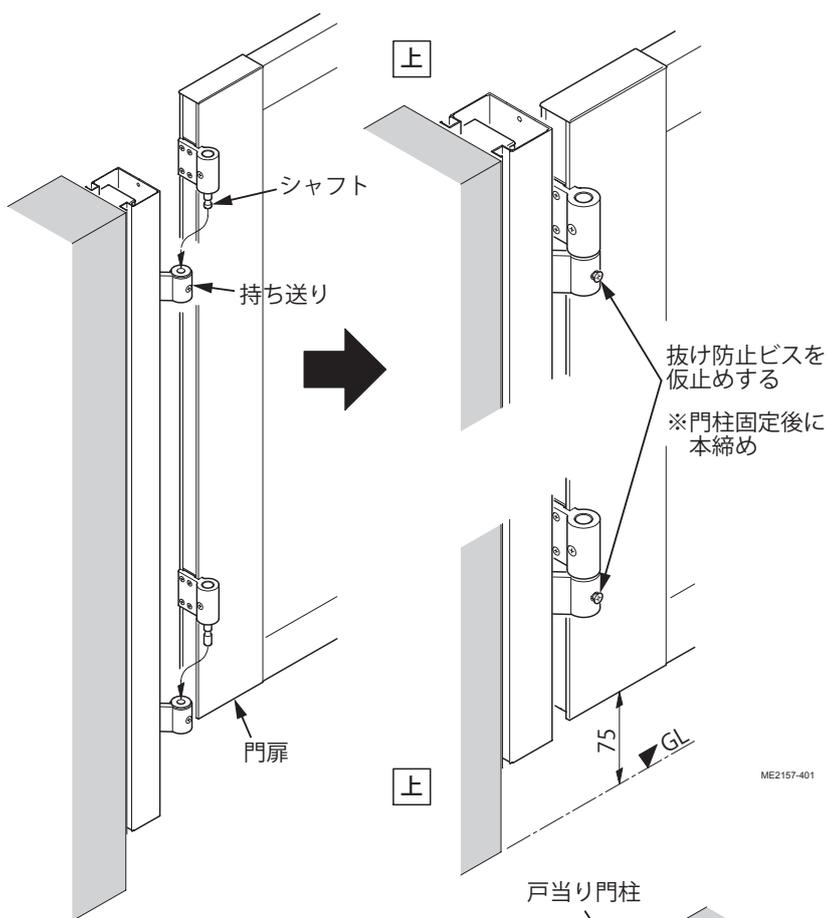


ME2157-301



⑥門扉を吊り込み、納まりを確認してください。

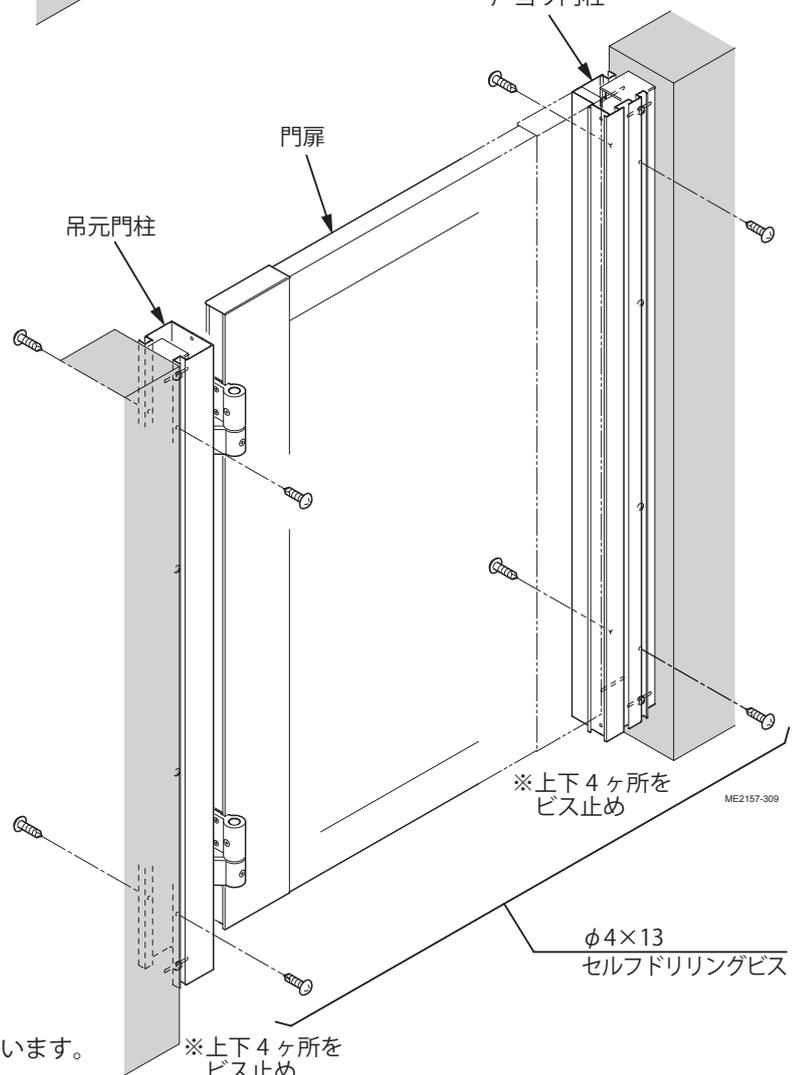
 チリ寸法：10mm



⑦柱の上下4ヶ所（残りの取付孔）をビスで固定してください。

⑧門扉の調整後、ヒンジの抜け防止ビスを本締めしてください。

 抜け防止ビスは確実に締め付けてください。



※本図は、片開きの場合を示しています。

※上下4ヶ所を  
ビス止め

## 4 付属部品の取付け

①錠受けに付属の施工説明書を参照して、錠受けを取付けてください。



参照する施工説明書  
・錠に付属の施工説明書

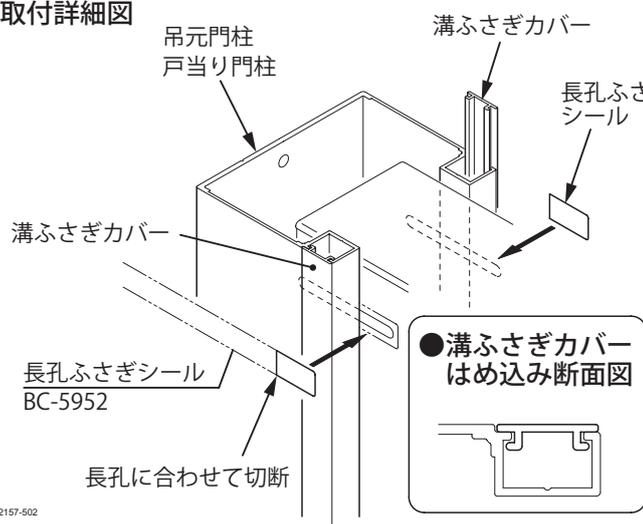
②下側の柱キャップを吊元門柱および戸当り門柱の溝に取付けてください。

③溝ふさぎカバーを吊元門柱および戸当り門柱の溝に取付けてください。

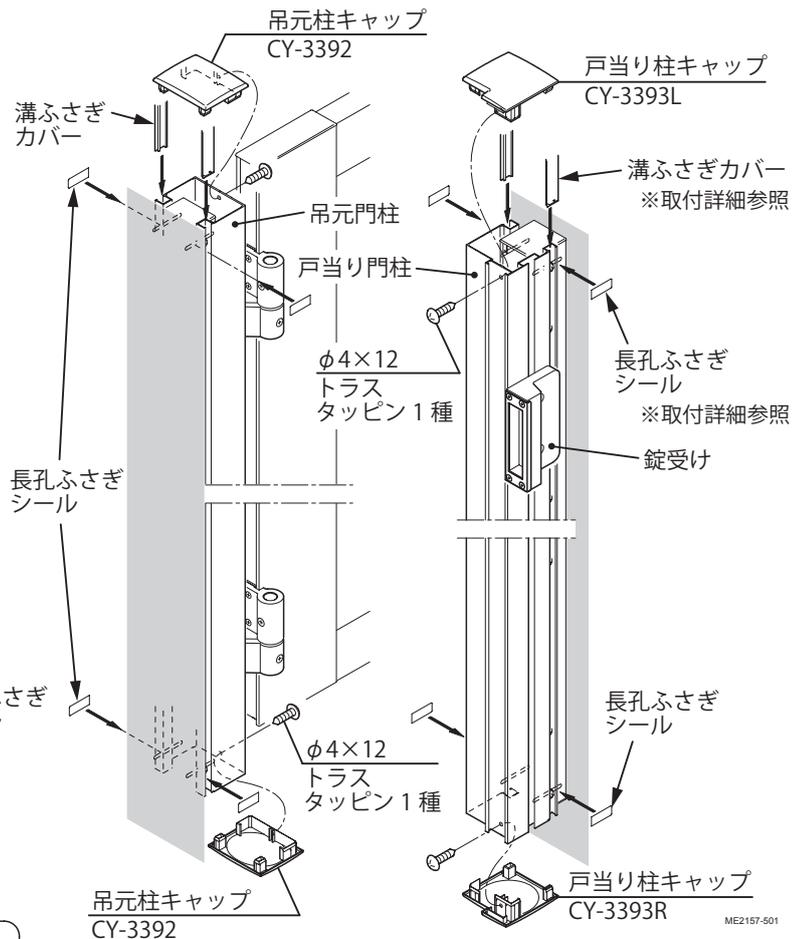
④上側の柱キャップを吊元門柱および戸当り門柱の溝に取付けてください。

⑤長孔ふさぎシールを、壁付け門柱の上下の長孔をふさぐように貼付けてください。

### ●溝ふさぎカバー・長孔ふさぎシール取付け詳細図



ME2157-502



ME2157-501



取付順序を間違えないように注意してください。

※順序を間違えると、部品が取付けられない場合があります。

## 5 落とし錠および落とし受けの取付け (※両開きの場合)

①落とし錠の施工説明書を参照して、落とし錠を取付けてください。

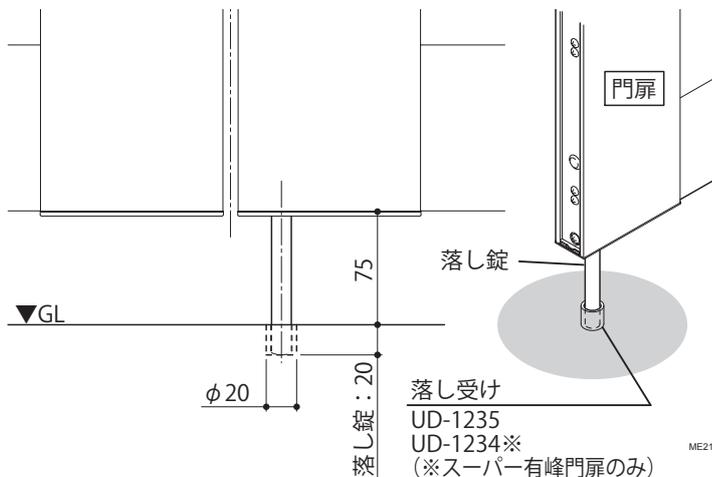


門扉の種類によっては、あらかじめ落とし錠が取付けられているものがあります。



参照施工説明書  
・戸当りセット梱包内：落とし錠の施工説明書

②門扉の落とし錠の位置に合わせて、落とし受けを埋め込んでください。



ME2157-402-2

## 6 戸当りの取付け (別売品)

①「形材門扉 戸当り」の施工説明書を参照して、戸当りを取付けてください。



参照する施工説明書

・「形材門扉 戸当り」：[ME-2098]

・「スーパー有峰戸当り」：[ME-2209]